41 01 08 04 01 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和04年01月17日（月）

事務事業	中央土地区画整理事業	担当課	区画整理課	担当係	中央区画整理係	管理番号	4122
第２次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別名 大項目	200005 快適で利便性の高いまち（都市・生活基盤）	根拠法令個別計画等	土地区画整理法				
中項目	200001 都市整備の行き届いたまちづくり						
小項目	200001 良好な市街地・住環境形成の推進						

事業概要	本事業は、中央土地区画整理事業地区の道路・公園等の公共施設を整備改善し、土地の区画を整え宅地の利用の増進を図る。・事業区域面積　２３．３ｈａ　・事業期間　平成１０年度～令和１０年度　・街路延長（幅員４～２２ｍ）　６，８５６ｍ　・公園　４箇所　７，６９０㎡　・建物移転棟数　７８４棟
目的 ※何のために	商店街や業務施設の再整備を行い、快適かつ利便性のある空間を創出し、商業を中心とした中心市街地にふさわしい街づくりに寄与すること。
対象 ※誰・何を対象に	中央土地区画整理事業地内
手段 ※どのように	建物移転により公共施設用地を確保する。
成果 ※何を求めるか	道路や公園を整備し、快適な居住環境を確保する。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	08	土木費	04	都市計画費	01	都市計画総務費	中央土地区画整理事業	749,075,735
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 都市再生土地区画整理事業	・ 土地区画整理審議会
・ 諸証明の交付	・ 行政財産・公共施設管理
・ 移転補償	・ 工事請負・委託業務
・ 仮換地指定	・
・ 土地区画整理法第７６条申請及び許可	・
・ 事業計画	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画								
事業費	予算（現額）		654,338,246	793,336,140	810,057,000	1,020,115,000	606,759,000	526,750,000
	決算額		465,615,459	663,893,395	698,952,128	749,075,735	0	0
	財源内訳	国支出金	90,408,500	120,911,000	135,423,000	132,500,000	144,000,000	131,500,000
		県支出金	20,000,000	6,000,000	33,000,000	30,850,000	22,000,000	31,332,000
		地方債	0	0	0	76,300,000	0	0
		他特定財源	3,996,678	4,606,874	13,357,051	5,096,748	4,598,000	4,705,000
		一般財源	351,210,281	532,375,521	517,172,077	504,328,987	436,161,000	359,213,000
人件費	従事職員数（人）		4.00	4.00	3.65	4.45	3.90	3.90
	人件費相当試算※１		31,116,000	31,128,000	48,630,000	36,205,200	31,730,400	31,730,400
			0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）			496,731,459	695,021,395	747,582,128	785,280,935	638,489,400	558,480,400

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

3．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
□	活動指標１	中央土地区画整理審議会開催回数	目標値	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	□
			実績値		1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		年１回の開催を目標とする。							
		年間の開催回数									
□	活動指標２	移転交渉回数	目標値	回							■
			実績値		228.00	147.00	100.00	97.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
		実績数									
■	成果指標１	事業進捗率	目標値	%	25.20	26.95	29.31	31.67	34.03	36.39	□
			実績値		23.88	26.45	29.15	32.05	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		過去の実績状況等を踏まえ、今後の目標値を設定							
		執行事業費／全体事業費									
■	成果指標２	建物移転率	目標値	%	30.00	39.41	42.78	46.15	49.52	52.89	□
			実績値		36.22	41.07	44.90	47.95	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		過去の実績状況等を踏まえ、今後の目標値を設定							
		建物移転実績棟数／計画移転棟数									
■	成果指標３	宅地の利用開始率	目標値	%	10.36	19.52	21.85	24.18	22.82	24.32	□
			実績値		17.19	17.84	19.30	21.38	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		過去の実績状況等を踏まえ、今後の目標値を設定							
		使用収益開始面積									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

4．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 中央土地区画整理審議会については、目標どおり開催できた。また、移転交渉については、関係権利者や個々の状況により交渉回数が左右されるため、それに伴い移転交渉回数が推移する。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 事業進捗率及び建物移転率は、目標値を上回ることができた。宅地の利用開始率については目標に届かなかったが、道路側溝整備等を行い「事業の見える化」を図ることで、数値に表れていない成果は上がっている。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	中央区画整理係長　茂木　徹也

5．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	
達成状況 及び その効果	

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	中央土地区画整理事業	担当課	区画整理課	担当係	中央区画整理係	管理番号	4122

- □ ① 現状のまま継続
- □ ② 見直して継続
- ■ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
- □ ④ 目的達成による終了
- □ ⑤ 廃止を検討

- □ 委託化等の検討
- □ 成果向上のための改善
- □ 効率化のための改善
- □ 事業規模の縮小
- □ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

中央地区は古くからの商業地であり、住宅密集率が高い地域である。そのため、移転先となる更地が少なく、また、複雑な権利関係により建物移転が難しい状況であるが、空き家の調査や積極的な移転交渉により事業用地の確保に努め、事業の進捗を図る必要がある。

評価者	区画整理課長　茂木　隆行

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

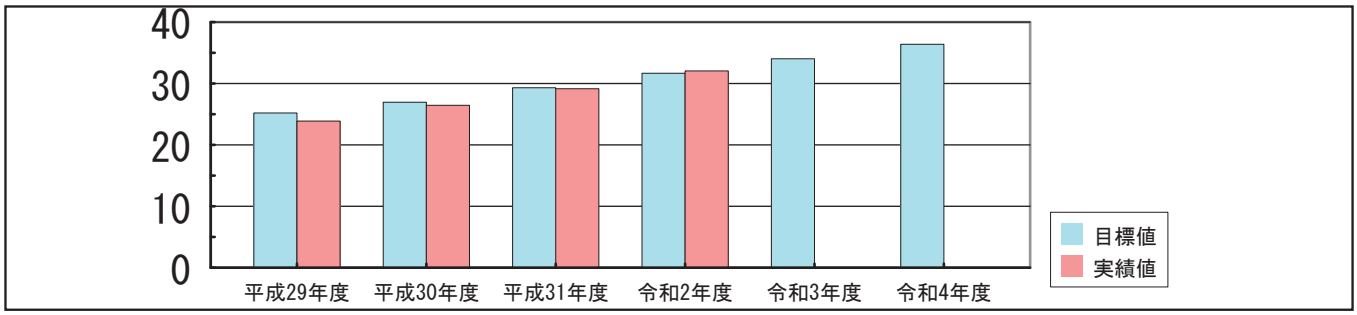
改善・改革案	令和３年度中の「深谷駅通り線」の開通を目指し、整備を進める。

８．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

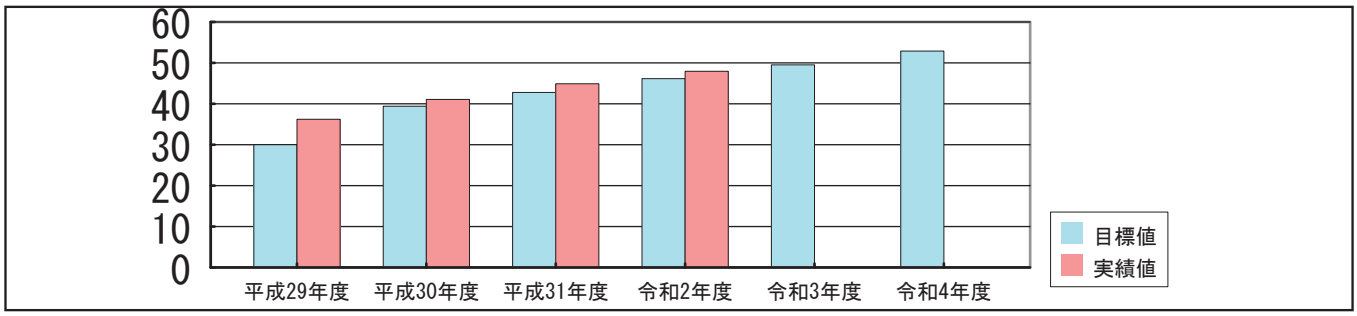
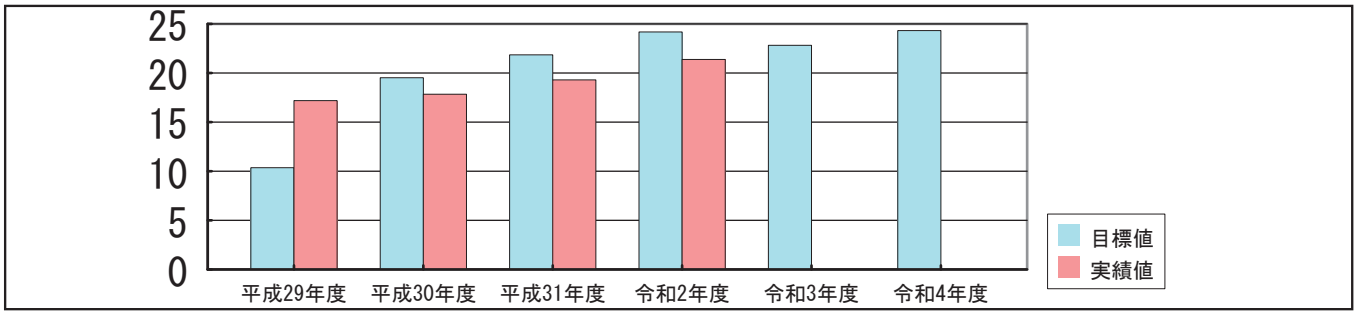
今後の課題	事業費の財源である国庫補助金等の安定した確保に努める。また、中仙道通りについては、整備可能な部分の工事を積極的に行う。

９．評価指標グラフ

区分	成果指標１	指標名	事業進捗率



区分	成果指標２	指標名	建物移転率



区分	成果指標３	指標名	宅地の利用開始率